

民間提案制度（テーマ型） 課題説明シート

◆提案の募集内容について

テーマ	ひきこもり支援の拡充
概要	主に、小中学生から 30 歳代までのひきこもりの方に対して、就労を目的とするのではなく、社会とのつながりや、家族以外の第三者とつながれる機会をつくることにより、社会生活の範囲を広げることができるように、ひきこもり支援を拡充する。
提案を募集する 背景・課題	<p>子ども若者支援課で受けるひきこもり相談は年間 10～20 人前後で、その対象年齢は小学生から 30 歳代までと幅広い年齢層となっている。</p> <p>そして、相談時には、ひきこもってから数年以上経過している方が多く、再び外に出るための支援を必要とする方が多い。</p> <p>現在実施している支援は、就労支援や医療的な支援を目的にしたものがほとんどで、外出して社会とつながれるというような支援が少ないのが現状である。</p> <p>そのため、まずはひきこもっている方が、家族以外の第三者とつながり、社会生活範囲を広げることができる支援を求める。</p>
提案者に求めるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅以外で過ごせる場の確保 ・第三者と安全に関わりつつ、I T のみで完結しない支援体制を構築できること ・イベントや事業を通じて、対象者の持っているスキルや特性を把握するとともに、それらを活かすという発想を持ったスタッフを配置できること <p>※提案においては、費用負担の最小化を図りつつ、費用対効果が最大になるような提案の検討に努めてください。</p>
想定する提案（例）	対象年齢は、主に 10 歳代から 30 歳代までを想定。

民間提案制度（テーマ型） 課題説明シート

	<ul style="list-style-type: none"> ・何もしなくてもよい、自由に過ごせる場の確保 ・いつでも相談できるスタッフの配置 ・オンラインやSNSによる相談体制の確保 ・居場所での交流を促す作業や、外出のきっかけとなる活動やワークなど、ひきこもりの方が選択できる事業の提供 ・対象者にとって有益な他機関との連携の確保
参考情報	<p>座間市：共同企業体に委託</p> <p>厚木市：社会福祉法人に委託</p> <p>他、県内でひきこもり支援を実施している NPO 法人あり</p>
担当部署	<p>子ども若者部 子ども若者支援課 子ども若者相談係</p>